

# 世界音楽の祭典 IN 浜松 2016 オープニングコンサート 世界遺産ジャワの影絵芝居 ワヤン・クリ



川島未来さん



岡戸香里さん



11月3日(木・祝)から6日(日)まで、ユネスコ音楽部門創造都市浜松市の主催による世界音楽の祭典 IN 浜松 2016 が、アクティビティ浜松をメイン会場に、市内各地で開催されました。それに先立つ10月からはイベントとして小学校へのアウトリーチ活動や30日(日)にはソラモでプレコンサートが行われました。(関連記事2面、3面)。

3日はソラモにて午後1時からのオープニングセレモニーの後、インドネシア、イギリス、ブラジルからのポップグループによるコンサートが行われ、5時30分から7時30分までは、

楽器博物館企画によるインドネシア、中部ジャワの伝統芸能が上演されました。

まずは、中部ジャワの王宮で発展した青銅打楽器のアンサンブル、ガムランの演奏。東京を本拠地とするガムラングループ「ランバンサリ」の演奏で王宮の儀式曲「チョロバレン」と器楽曲「サブジャガ」(世界を清める曲)。続いて岡戸香里さんによる勇ましい王子の宮廷舞踊「ガンビルアノム」と、川島未来さんによるバニユマス地方の五穀豊穡を祈る民衆舞踊「レンゲル」。(2面へ続く)



# 世界音楽の祭典 IN 浜松 2016 プレコンサート



スコットランドのバグパイプ

10月30日(日)に浜松駅西側の遠鉄百貨店新館、本館の間にある「ソラモ」で「世界音楽の祭典 in 浜松 2016」のプレコンサートを開催しました。「ソラモ」は野外で駅と駅を結ぶ場所に位置するため、通行量が多く、たくさんのお客様が足を止めて聴いて下さいました。このプレコンサートは浜松市楽器博物館が企画したもので、アジア、北米、中米、ヨーロッパの民族音楽が一堂に集い、祭典の開催を華々しく飾りました。

まずは韓国の団体、打縁琴(タヨングム)によるサムルノリの演奏です。サムルノリは「4つの遊び」という意味で、豊作を願う「農楽(ノンアク)」をもとに舞台芸術用にアレンジされたものです。使用する4つの楽器にそれぞれ意味があり、ケンガリは「雷」、チンは「風」、チャンゴは「雨」、プクは「雲」という意味があります。ケンガリが指揮者のような役割でテンポを変えたり、始まりや終わりの合図をだしたりします。迫力のある音とともに4人いっせいに踊りながら演奏する場面もあり、華やかな衣装に目を奪われました。

つぎは伊澤陽一さんと松井奈都子さんによるスチールパンの演奏です。スチールパンは南米のトリニダード・トバゴで誕生した楽器です。ドラム缶の表面を叩いていくつものくぼみを作り、そのくぼみをやさしく叩いて音をだします。その音色は南国を思わせる不思議な音色がします。「Pan for Carnival」や「コーヒー・ルンバ」などが演奏され、その音色に癒されました。



韓国のサムルノリ



トリニダード・トバゴのスチールパン

(1面続き)美しい衣装と優雅な身のこなしに客席からはため息が漏れました。

休憩の後、ユネスコの世界無形文化遺産にもなっているジャワの影絵芝居「ワヤン・クリ」で、叙事詩「マハバラタ」より「毘(わな)」を上演しました。ワヤンは影、クリは皮という意味で、文字通り水牛の皮で作られた皮人形を、一人のダラン(人形使い)が自らセリフをしゃべりながら上演する伝統芸能で、音楽はガムランが担当します。人形は細かな透かし彫りと彩色が施され、見ても大変美しいのですが、影になると、大きくなったりぼやけたりと、幻想的な世界が生まれます。今回のダランはジャワ出身で日本在住のスミヤントさん。堪能な日本語で、兄弟間の王位継承争いの

物語を、ユーモラスに演じて下さいました。

楽器博物館では、このワヤン・クリを室内で何回か上演していますが、現地では野外で夜を徹して上演されるのが普通です。今回浜松初の屋外上演が実現し、多くの方にワヤンを観ていただけたのは有意義なことで、初めて観た方も口々に「素晴らしかった」と感想を述べて下さいました。ただ、インドネシアは熱帯ですから夜は涼しくて気持ちが良いのですが、この日の浜松は特別に寒くて風も強く、出演者も観客も震えながらのワヤンとなりました。

日時：平成28年11月3日(木・祝) 17:30～19:30  
会場：ソラモ  
出演：ランバンサリ(ガムラン)、スミヤント(ダラン)、  
岡戸香里、川島未未(ジャワ舞踊)



デキシーランドジャズ

日 時：平成 28 年 10 月 30 日（日） 13:00 ~ 16:00  
 会 場：ソラモ  
 出 演：東京パイプバンド、東京スコティッシュブルーベルクラブ、  
 伊澤陽一 & 松井奈都子（スチールパン）  
 青木研 & デキシーランドクラッカージャックス、  
 打縁琴（タヨングム） / 李昌燮 曹仙和 金春江 趙かおり  
 朴善英（コムンゴ）

そして、青木研 & デキシーランドクラッカージャックスによる演奏では、青木研（バンジョー）、中川喜弘（トランペット）、中川英二郎（トロンボーン）、松永敦（チューバ）、楠堂浩己（ドラム）、後藤雅広（クラリネット）の 6 名によるデキシーランドジャズを楽しみました。デキシーランドジャズはアメリカ、ニューオーリンズで誕生したジャズです。「聖者の行進」「これで満足だ」「この素晴らしい世界」などが演奏され、その圧倒的なテクニックに会場は大いに盛り上がりました。

最後はスコットランドのバグパイプの登場です。バグは「袋」、パイプは「笛」という意味です。袋に息を吹き込み、空気が満たされた袋を押すと 4 つのパイプから同時に音がでます。ステージの裏から行進しながら登場し、客席を一回りしてからステージに登りました。スコットランド民謡ドレーや「アメイジング・グレイス」などが演奏されました。ドラム隊によるドラムだけの演奏や男性が戦に行く前に士気を高めるための踊りや女性による軽やかな踊りも披露されました。

## 世界音楽の祭典 交流コンサート 〈Percussion!〉

11 月 3 日（木・祝）に雄踏文化センターにて世界音楽の祭典 交流コンサートが開催されました。トリニダード・トバゴのスチールパン、日本の和太鼓、韓国のサムルノリ、コンゴ共和国の伝統音楽「テケ」など、世界の打楽器奏者が一堂に会しました。

日 時：平成 28 年 11 月 3 日（木・祝） 14:30 ~ 16:00  
 会 場：雄踏文化センター 入場者：341 人  
 出 演：伊澤陽一 WAIWAI STEEL BAND、打縁琴（タヨングム）、  
 少女和太鼓魅鼓 KAIKO/500、BANA BATEKE



スチールパン



サムルノリ

## 世界音楽の祭典 楽器博物館企画 「ブリヤート共和国・バイカルの歌姫 ナムガル」



日 時：平成 28 年 11 月 4 日（金） 19:00 ~ 21:00  
 会 場：アクトシティ浜松 音楽工房ホール  
 出 演：ナムガル・ルハサラノワ（ヴォーカル / ヤタガ / 口琴）、  
 エフゲニー・ゾロタリョーフ（チャンザ / ベース / コーラス）、  
 ティムール・ゾロタリョーフ（ギター / コーラス）、  
 等々力政彦（喉歌 / イギル）、堀越彰（パーカッション / ドラム）  
 入場者：136 人

世界音楽の祭典 in 浜松 2016 の楽器博物館企画として「ブリヤート共和国・バイカルの歌姫 ナムガル」を開催しました。

ブリヤート共和国からナムガル・ルハサラノワさん、エフゲニー・ゾロタリョーフさん、ティムール・ゾロタリョーフさんをお迎えし、等々力 政彦さん、堀越 彰さんとともに演奏していただきました。ナムガルさんたちの演奏は民族音楽をベースにロック的アレンジを加えたサウンドで欧米では絶大な人気があります。民族楽器である口琴、ヤタガ、チャンザ、イギルも登場し、そのサウンドに客席からは歓声上がるほど盛り上がりました。

ブリヤート共和国は東シベリア・バイカル湖南東に位置しています。ロシア、中国、モンゴルなどの要素が混じりあい独特の文化が育まれている国です。夏は 40 度、冬はマイナス 40 度になるほど寒暖の差が激しい気候だそうです。ナムガルさんは「広い場所で生活をしているから、解放的で朗々とした声になる」とおっしゃっていました。ブリヤート共和国の雄大な自然を歌った曲や、西ブリヤートの人たちの踊りの歌、新婚時代を歌った曲、そして「この世に素敵な日はたくさんあるが、友と過ごせる時間は数えるほどしかない、だからみんなが集まり、楽しもう」という内容の歌などが演奏されました。アンコールには日本の童謡「赤とんぼ」が歌われ、その伸びやかで天高く舞い上がる声に魅了されました。



# 特別展「小泉文夫からのメッセージ」オープン記念ミュージアムサロン

特別展「世界を聴いた男、民族音楽学者・小泉文夫からのメッセージ」の開催初日にオープン記念ミュージアムサロンを開催しました。

まずはパラグナ・グループによる演奏でインドネシア、ジャワ島西部のスダ地方の音楽を紹介していただきました。

パラグナ・グループはガムラン・ドゥグン、トゥンバン・スダを演奏する日本で唯一のグループです。ガムラン・ドゥグンはスダ地方特有のガムランで、バリや中部ジャワのガムランに比べ、編成が小さく静かなことが特徴です。トゥンバン・スダは声楽アンサンブルで、伴奏にカチャピという金属弦の箏とスリンという竹笛を用います。「バラマエン」「エス・リリン」「ワニ・ワニ」などが演奏されました。聴いていると身も心もほぐれるような上品で落ち着いた音のあるガムランの音色を楽しみました。

続いて佐野健二さんのリュートと平井満美子さんのソプラノによるイギリス音楽で、フォークソングと、16世紀後半に活躍したリュート歌曲の作曲家、ジョン・ダウランドの作品を演奏していただきました。

16世紀当時のイギリスは経済的に豊かだったため、かえってメランコリーを楽しむような芸術が流行したそうです。ダウランドの曲もやはり憂いを帯びた歌詞が綴られています。お二人の奏でる美しい響きと相まって、とても甘美な音楽でした。「カムアゲイン」や「流れよわが涙」、スコットランド民謡の「アニー・ローリー」などが演奏され、優しいリュートと伸びやかな歌声を堪能しました。

ミュージアムサロンは来館されたお客様はどなたでもお聴きいただけるミニコンサートです。今回はそれぞれの団体に2回ずつ演奏していただきましたので、一日中生演奏が楽しめる大変充実した日となり、特別展の開催を華々しく彩りました。



日時：平成28年10月23日（日） 11:00、14:00（各30分）  
会場：楽器博物館 天空ホール  
出演：パラグナ・グループ（荒井 桂、川口明子、古賀暢子、佐藤紀子、深瀬千絵、光永誠、峰野誉久、村上圭子、森重行敏）  
入場者：127人



日時：平成28年10月23日（日） 13:30、15:00（各30分）  
会場：楽器博物館 天空ホール  
出演：佐野健二（リュート）、平井満美子（ソプラノ）  
入場者：106人

## これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説  
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- レクチャーコンサート  
「パワフル口琴トリオ 熱狂のハンガリアン・トラディション」  
11/26（土） 18:30 天空ホール  
出演：ゾールド（シラー・アーロン、オルマー・クリスティアン、ドラバント・ベアラ）
- イブニングサロンコンサート  
「I'll Be Home For Christmas」  
12/14（水） 19:00 天空ホール  
出演：鈴木麻美、藤森潤一、鈴木辰美、星合厚  
「国際古楽コンクール《山梨》2016 入賞者コンサート  
Pure&Cristal-Guitar Duo」  
12/17（土） 18:30 天空ホール  
出演：Duo HPD（井本響太、山田唯雄）

- 講座  
楽器の中の聖と俗「鳥と人間との音楽交流」（全4回）  
19:00 展示室  
講師：西岡信雄  
1/16（月） 第1回「鳥は神様か、便利な友人か」  
1/30（月） 第2回「鳥を真似て、歌い踊る」  
2/13（月） 第3回「鳥の音楽教室」  
2/27（月） 第4回「鳥声入りの音楽 中世からメシアンへ」  
第2回演奏：青木佳那（電子チェンバロ）  
第4回演奏：中野振一郎（チェンバロ）、  
羽賀美歩（ピアノ）、  
森本英希（フルート）、  
村田佳生（リコーダー）、  
吉岡秀和（ヴァイオリン）、  
中川敦史（ヴィオラ）、  
野田祐子（チェロ）、  
池田源輝（コントラバス）

## 浜松市楽器博物館だより

平成28年11月14日発行 No.114 編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1 TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>